

平成 24 年度高エネルギー加速器研究機構

技術職員シンポジウム参加報告

機械・環境建設系技術班 十河 基介

主 催：高エネルギー加速器研究機構
出張期間：平成 25 年 1 月 16 日（水）～1 月 17 日（木）
出張先：高エネルギー加速器研究機構（つくばキャンパス）

1. はじめに

このシンポジウムでは、技術職員に係わる課題に対する各機関での具体的な取り組み、成果、新たな課題などを中心に、情報交換・意見交換を行うことにより、国立大学、国立高等専門学校、大学共同利用機関等の技術職の更なる技術の向上と活性化を目的に開催されています。今回、シンポジウムに参加したのでこのことについて報告する。

2. 報告事項

シンポジウムへは全国から 94 名の参加があった。以下の 2 項目に関して 12 機関から 14 件の状況報告があり、参加者による活発な討議が行われた。

- 1) 各機関における専門的な研修（研修制度）への取り組み
- 2) 技術職員の在り方と組織化の役割について組織化による人材、技術、装置・設備の活用への効果

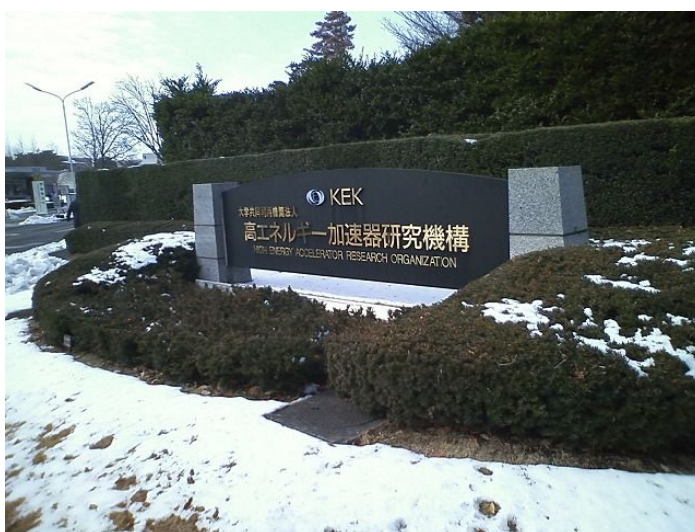
また、平成 24 年度愛媛大学総合技術研究会の開催について、高エネルギー加速器研究機構の方々にご配慮いただき、参加者にチラシの配布していただくとともに、状況報告の前に案内の時間を設けていただいた。

3. おわりに

報告者は今回初めてこのシンポジウムに参加した。他機関の技術職員による状況報告および意見交換は、非常に興味深く、今後の取り組みに参考になるものばかりであった。他機関における技術職員の取り組み等についての情報は、各機関からの活動報告集等で得ていたが、直接、状況報告を聞き、意見交換することによる情報量ははるかに多く、考えさせられるものであり、本シンポジウムへの参加は貴重な体験となった。

また、平成 24 年度に愛媛大学において開催される総合技術研究会に関して他機関の多くの方と意見交換を行うことができたことは極めて有意義であった。

謝辞：本シンポジウムの開催機関の皆様には感謝の意を表すと同時に、参加に対してご配慮いただいた本学関係各位にお礼申し上げます。



写真－1 会場